



～真っ白なキャンパスに青空～
グラウンドにて



発行

社会福祉法人 山形県玉葉会
救護施設紅花ホーム

天童市大字成生1971番地26
0237(47)0241

HP <http://gyokuyokai.or.jp>
E-mail kohahome@gyokuyokai.or.jp

新年あけましておめでとう
ございます。皆様には、健やかに新春をお迎えのことと心よりお喜び申し上げます。当施設では、利用者さんの高齢化が進み、通常の生活が常態化してきたことから、昨年四月に定員を一三〇名から一五名に変更し、常時介助を必要とする皆さんが安心して生活ができるよう居住環境等の整備を図ってまいりました。また、福祉サービスの「第三者評価」も昨年初めて受審し、これまで当施設が行ってきた運営管理やサービス提供などでの良い点や改善点等も明確化することができました。今後、利用者の皆さんの満足度が更に高まるよう、全職員が一丸となつて、きめ細やかな、そして質の高いサービスの提供に努めてまいりたいと考えて

おります。益的な取組の一つとして、一昨年に締結した天童市との福祉避難所の指定等、協定の引き続き、同市と友好都市を締結している宮城県多賀城市との間で規模災害時の施設利用を締結したことに伴い、施設利用者のみならず災害時の要配慮の方への支援等の取組みについて、推進していく考えです。今後とも、地域における「一層の機能強化を図りながら、救護施設としての役割を果たしてまいります。このご家族の皆様、そして地域の皆様方の変わりぬご指導ご支援をお願い申し上げます。本年が皆様にとりましても飛躍の年となりますようご祈念申し上げます。新年のあいさつといたします。



新春のあいさつ

園長 細谷 康夫

福祉サービスの向上に向けて

福祉サービス第三者評価受審

福祉サービスの具体的な改善点や、これまでの取り組みを善点を明らかにし、利用者の評価していただいた点について皆さんへのサービス向上を目的に、昨年「福祉サービス第三者評価」を受審しました。

第三者評価という第三者の目で評価機関という第三者の目で見えていただいたことで、これまで行ってきたサービス提供についての改善点などを明確にすることができました。受審前は何かと不安もありましたが、受審前の取り組みから現在に至るまで、多くの気付きがあった

今回、今回の評価結果については、山形県を始め、当法人ホームページでも公表しておりますので、詳しくは、そちらをご覧ください。



より快適な生活を送ってもらうために

今年度は、主に次の施設整備を行いました。

- ・防犯カメラを四台から八台に増台。一部は夜間撮影にも対応しました。

- ・畳敷き居室一室をフローリングの床に改修。車椅子や歩行器を使いながらの生活が快適になりました。また、特殊寝台を置いて身体介護を要する利用者に対応しやすくしました。

- ・照明工事。直管型蛍光灯約四百本をLED化しました。これまでの年間電気料約六パーセント分の削減効果を見込んでいます。



劇的ビフォーアフター

利用者の生命と安全を守りぬくために

災害はいつ起こるか分かりません。紅花ホームでは万一の災害に備え、防災用の倉庫に3日分の備蓄食品と日用品、飲料用のポリタンク(500ℓ)、発電機と投光器などを常備しています。利用者さんの生命と安全のために日々、防災への準備と意識を高めます。支援にあたっています。



もしもの際に備えて万端に！



楽しいクリスマスパーティー☆



歓迎
大泉逸郎さん
金沢きよしさん



一丸となって奏でました♪



金沢きよしさん♪



YCBクリスタルサウンズの皆さん



綺麗に清掃して
頂いています!



敬老会はやっぱり赤飯



マジックショー♪



春が楽しみです



春日神社の神主さんに
みんなの健康を祈願してもらいました



レク!何個入ったかな?



飾り付けを
してもらいました



ホームの秋を
見つけてもらいました

今年度は十一名の大学生の方が救護施設の概要や利用者の方の支援方法を学びました。食事や入浴の介護、話し相手などの体験をしました。実習が終わる頃には利用者の方が「またこいなく」と別れを惜しんでいました。ぜひまた来園して頂きたいですね。

若いパワーで紅花ホームに笑顔をと職員免許資格取得で介護体験?



必需品です!!

思います。皆さんに提供したいので、利用者丁度良いトロミ具合を覚えた

職員全員でトロミ剤を使用してお茶を頂く体験をしました。普段からトロミ剤を使用している利用者さんの気持ちが、少し分かる気がしました。トロミがつくと飲み易く、すうっと喉に入ってくる感じの

体験してみました

この一年を振り返って

支援業務主任 (利用者支援責任者)

萩生田 千賀子

前業務主任から引き継ぎ、間もなく一年になります。これまでとは全く違い、事務室でのデスクワークが中心となりましたが、以前と同じように、廊下の向こう側から手を振り「おはよう」「今日来たな」「また来い」と声をかけてくださる利用者さん一人一人の笑顔が、毎日の活力になっています。

利用者の作品紹介

齋藤勝雄さんの作品です。花瓶用の紙は毎月のカレンダーを集めて利用しています。文化祭でも人気がありとても好評です。



クラフトBOXです



素敵なお花瓶ですね

ひと針ひと針に 思いを込めて

手芸ボランティア

今年度の手芸教室は「手提げバック」です。布は色んな柄から好きな物を選びます。シックな感じや柔らかい感じなど、とても個性がでます。女性の方からは「ボランティアの方が丁寧な縫い方からアイロンの掛け方まで教えてくれるので不安になることなく取り組みます。」と感想をもらいました。前回製作したティッシュボックスカバーも大変好評でしたが、今回の手提げバックもきれいに仕上がっており、なかなかの出来です。大切に使用して頂ければと思います。



皆さん真剣ですね



上手に完成出来ました♪

◆ありがとう◆

- ☆脇田 三郎様
- ☆天童市更生保護女性会様
- ☆祥扇衿代旭様
- ☆乱川婦人会様
- ☆中沢 秀夫様
- ☆向原町内会様
- ☆大泉 逸郎様
- ☆金沢きよし様
- ☆YCBクリスタルサウンズ様
- ☆まいづるコーラス様
- ☆天童市連合婦人会様
- ☆山形県民踊協会様

◆おめでとう◆

- 《表彰》
- ☆全国救護施設協議会 永年勤続功労者 (20年)
- 副総括支援員 新関 夏子
- 支援員 手塚 拓郎
- ☆山形県知事社会福祉功労者 事務主任 木村 裕
- ☆県民福祉大会会長 総括支援員 後藤 香織

◆利用状況◆

- 平成29年7月1日から平成30年1月31日まで
- 《入所》 3名
- 《退所》 6名
- 《一時入所》 4名、延べ71日間利用

《体験入所》 2名、延べ6日間利用

ボランティア募集

●演奏 ●演芸 ●レク ●行事の手伝い ●施設内清掃 ●話相手(傾聴) ●屋外作業(花壇・草取り) ●その他ご相談のうえ 活動内容や回数は無理のない範囲でお願いしております。ボランティアをしていただく方、興味がある方等、初めての方も大歓迎です。電話またはホームページの入力フォームからお気軽にお問い合わせ下さい。 ボランティア担当まで連絡お待ちしております。

編集後記

広報担当として東京で開かれた広報講習会に参加してきました。編集について基礎から学ぶことができ、他施設の広報誌を拝見する事がとてもいい刺激になりました。今後多くの皆さんに手に取って読んで頂けるよう努力していきたいです。

※写真・氏名等は、ご本人の承諾を得て掲載させて頂いております。印刷 (株)文昇堂印刷 023(6886)5105